



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年3月22日
文責：校長 江上 知男

「創立150周年記念式典」が開催されました！



嘉島太鼓



作文発表

3月21日(木)の卒業式後、「嘉島西小学校創立150周年記念式典」が開催されました。体育館に300人を超える方々が集まって、「学校のお誕生日」を祝っていただきました。

「嘉島太鼓」の演奏でスタートした式典は、清崎実行委員長の式辞、鍋田町長の祝辞等の後、「この50年を振り返ったスライドショー」が流され、参加者は「嘉島西小の時の流れ」を感じ取っていました。

最大の関心は、「ゆるキャラグランプリ」の表彰で、優秀賞(5点)とグランプリ(1点)が発表されました。そして、3年2組の米満芯さんの作品「かにしまる」がグランプリに選ばれました。今後「学校のキャラクター」として活用される予定です。

最大の感動は、6年1組の今村明心さんが発表した「学校への感謝」の作文で、「地域の担い手としての覚悟」を感じました。また、式典に参加し進行を担当した6年生に対して、清崎実行委員長から感謝の言葉とともに「バトン」が贈られました。「次の時代を創って欲しい」という強い願いが感じられました。



最後に、本校卒業生の「ダンスチーム」のパフォーマンスで幕を閉じました。

私は、実行委員会に立ち上げから関わらせていただいておりますが、「地域の皆さんの学校への思い」を強く感じています。そして、最初は「式典をする」「記念誌を作る」といった記念事業をすることが目的だったのですが、実行委員会を重ねて行くうち、「地域・PTA・学校の関係」がどんどん良くなっている実感があります。いつの間にか、「人と人がつながること」が実行委員会の目的になったと感じています。

式典に参加された来賓、地域、児童代表、実行委員の皆さま、本当にありがとうございました。

「光陰矢の如し」と言いますが、本当に月日の流れは早いものです。今年度も残り1週間となりました。この1年、校長として自分なりに学校運営に懸命に取り組んできたつもりではありますが、力不足のため、保護者や地域の皆さまの期待に十分応えることができなかったのではないかと、大変申し訳なく思っております。

私は、この学校に赴任して強く感じていることがあります。それは、家庭や地域が「学校と一緒に課題を解決しようとしている」ことです。PTAの役員さんたちが、とても主体的に活動されていることも心強いですし、先生たちに対する「感謝の言葉」「励ましの言葉」をたくさんいただくこともありがたいです。地域の方々の「温かさ」も強く感じます。全ての先生たちが「この学校でもっと力を発揮したい」「なるべく長く勤務したい」と思っています。

学校の仕事は、「子どもを卒業させて終わりではなく、関わった人の人生に深く関わり続けていくものだ」ということを自覚しています。卒業した方々が、「嘉島西小学校を心のよりどころ」としていただけるよう、これからも「地域とともにある学校」を目指して職員一同頑張ります。1年間、学校便りをとおして、稚拙な文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。